

2024 年度 カレッジスポーツセンター（CSC）FD 活動報告書

カレッジスポーツセンターでは、全学の FD 方針に基づき、以下の取り組みを実施した。

1. 105 分授業への対応

「スポーツ実践」「競技スポーツ実践」「スポーツ資格関連諸科目」の授業において、長時間化する 105 分授業においても効果的に学習・技能習得が促進されるよう、アクティブラーニング手法を取り入れた授業デザインを開発、実践した。特に、スポーツ実践の諸科目においては、より十分な安全対策、集中力維持のための工夫を行っていった。

また、授業デザインの見直しと改善を目的とした教員間の検討会（活動実践報告等）を当センター全体で開催した。そうした内容を次年度の授業計画に反映させ、「競技スポーツ実践」等において、より一層の競技力向上の推進及びたくましい人間力育成の実現のための教育を目指していく。

評価

授業デザインの見直しと改善を目的とした教員間の検討会（活動実践報告等）が、教員の意識改善、初任の教員への情報提供と目的意識の共有、また各授業内容の工夫及び充実に生かされている。

2. 基礎的学習スキルの育成（初年次科目の充実）

初年次学習の重要性を教員間で共有した。基礎的学習スキルである基礎的实践技能、各スポーツのルール習熟、コミュニケーション、情報収集、企画立案、及びプレゼンテーション等のスキル習得・向上を目標として授業を進めた。授業デザインの改善、および、授業内で使用する教材の開発と改善を行った。

また、「Life Skill Program」の実施により、学生アスリートに求められる専門的な知識や技能の習得・向上を図っていった（毎回アンケートを実施。本内容実施の様子、アンケート結果の一部は大学の HP にも掲載。学生等への周知等を図った。高等学校への情報提供、また新入生スカウトのための一助とした）。

評価

「Life Skill Program」につき、各回の内容が、各々の競技実践に生かすことができ、パフォーマンス向上に役立つという学生の意見（毎回のアンケート結果）を多く受けている。その概要の大学 HP における掲載は、年間を通じての競技実践状況の掲載と併せて、高等学校への情報提供、また新入生スカウトのためにも有効であるとの意見を多く受けている。

3. その他

センター会議（月例）において教員間で情報共有（指導理念、活動方針、現活動状況、改善状況、また問題点の報告等）、意見交換を図り、適宜、各授業の改善に反映していった。

評価

センター会議（月例）において教員間で各種情報の共有、意見交換を図り、適宜、各授業の改善に反映することができた。学生の競技能力及び大会成績が向上して高い評価を受け（全日本大学選手権大会における日本一の獲得等）、学生自身も外部からの評価を受ける等（オリンピック競技大会での活躍、世界選手権大会での優勝・金メダル獲得、各種大会での表彰等）、自信とさらなる挑戦意欲を深めることができた。今後もこうした取組みを継続し、さらに各競技における学生成長の機会を充実させていく。

以上